

『ダイヤモンド・プリンセス』寄港！市内各地でおもてなし

○ダイヤモンド・プリンセス



▲ダイヤモンド・プリンセス

6月16日（金）、青森港沖館ふ頭に本年2度目となる「ダイヤモンド・プリンセス」が寄港しました。今回は、「グランド北海道周遊と知床クルージング・サハリン11日間」により青森港に寄港しました。

同船の寄港を歓迎し、市内各地で様々なおもてなしのイベントが開催されました。今回は、その様子をご紹介します。

○青森明の星高校おもてなし（沖館ふ頭）



▲書道を体験する外国人旅行者



▲高校生によるねぶた囃子演奏



▲蛇口から出るりんごジュース試飲



▲高校生と写真撮影する旅行者

沖館ふ頭では、青森明の星高校英語科の生徒約70名がクルーズ客船のおもてなし体験を行いました。生徒による書道体験やねぶた囃子の演奏、りんごジュースの試飲など“おもてなし”を受けた旅行者の皆様は、笑顔で生徒たちとのふれあいを楽しんでいました。

○あおもり街てく



▲ボランティアガイドによる新町通り案内



▲アウガ新鮮市場の見学



▲善知鳥（うとう）神社参拝と神楽鑑賞



市内ではボランティアガイドによる街歩きツアー「あおもり街てく」が行われ、参加した旅行者の皆様は、観光物産館アスパムを出発し、新町通りやアウガ新鮮市場、善知鳥神社などを巡り、市内の散策を楽しみました。善知鳥神社では、クルーズ船の寄港に合わせて特別に神楽が披露されました。

○お茶席体験（あおもり北のまほろば歴史館）



▲お茶席体験をする外国人旅行者

あおもり北のまほろば歴史館では、お茶席体験が行われました。同館の石山副館長が点てた抹茶をいただいた外国人旅行者は、茶の湯の作法や抹茶の味により、日本ならではのおもてなしを体験しました。

同館では、沖館ふ頭への外航クルーズ船の寄港に合わせて今後も様々なおもてなしを開催する予定となっています。

○日本食試食体験



▲すき焼き（左）と寿司（右）を試食する外国人旅行者

市内の日本料理店やアスパムでは、日本文化体験として、すき焼きや寿司の試食が行われました。これは、青森県と青森商工会議所が企画したもので、外国人旅行者は、浴衣やはっぴを身にまとい、日本の食と文化を堪能しました。

○津軽三味線演奏（観光物産館アスパム）



▲津軽三味線の演奏

アスパムでは、津軽三味線の演奏も行われ、旅行者の皆様は津軽三味線の音色に耳を傾けていました。

○お見送り



▲青森ねぶた囃子の演奏



▲青森大学忍者部によるパフォーマンス



▲お見送りした高校生らの集合写真



▲出港を見送る方々

出港セレモニーでは、サンロード青森ねぶた囃子会による青森ねぶた囃子の演奏や、青森大学忍者部による忍者パフォーマンスが披露され、忍者の連続バック転に大歓声や拍手が送られる中、ダイヤモンド・プリンセスは、次の目的地である小樽港へ向け出港しました。同船は今年中にあと2回青森港へ寄港する予定となっています。

今回の「ダイヤモンド・プリンセス」寄港では、市内各地で様々なおもてなしのイベントが開催されました。旅行者の皆様には、青森の食と文化を堪能していただくとともに、地元の方々との交流・ふれあいにより、青森の魅力を満喫していただけたと感じています。

このような取り組みが、クルーズ船の寄港地としての魅力向上や寄港数の増加、地域の活性化につながるものと期待しています。